

アクセシビリティ

2016年のうちに再確認しておきたい

キホンの「キ」







植木真(インフォアクシア)



千貫りこ (KICKS Web)

2016年の「Webアクセシビリティ」

- 1. 「JIS X 8341-3」の改定
- 2. 「障害者差別解消法」の施行
- 3. 「みんなの公共サイト運用ガイドライン」の公開
- 4. 企業におけるWebアクセシビリティの取り組み
- **5.** HTML5とWAI-ARIAによる実装が加速



JIS X 8341-3:2016

- # 2016年3月22日 公示
 - 国際規格「ISO/IEC 40500:2012」(= W3C 「WCAG 2.0」)と同じ内容の一致規格に
 - ■「JIS X 8341-3」=「WCAG 2.0」の日本語訳
 - **■** 達成基準には一切の変更ナシ

▮ただし、「WCAG 2.0」の日本語訳を大幅に見直し



JIS X 8341-3:2016 解説 http://waic.jp/docs/jis2016/understanding/201604/



障害者差別解消法

- ₩ 2016年4月1日 施行
- 業 利用者からの改善要望があれば個別対応
 - よ公的機関は法定義務、民間事業者は努力義務
 - 自治体のWebサイトに対して改善要望が出され 始めている

Webアクセシビリティの確保は、**先進国の多くでは 法律によって義務化**されている

障害を理由とする差別の解消の推進 http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html



みんなの公共サイト運用ガイドライン

- # 2016年4月20日 公開
 - ▶ 総務省が作成
 - ♣ 公的機関職員向けのJIS対応 手順書
- **2018年3月末までにレベル AA準拠** を推奨
 - ♣ 先進国の多くで義務化されているレベルと同じ
- - ▶ 自己採点により毎年取り組み状況を評価し公表

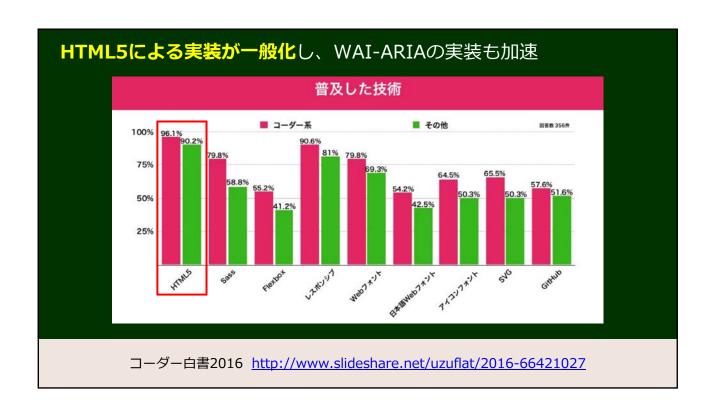
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html



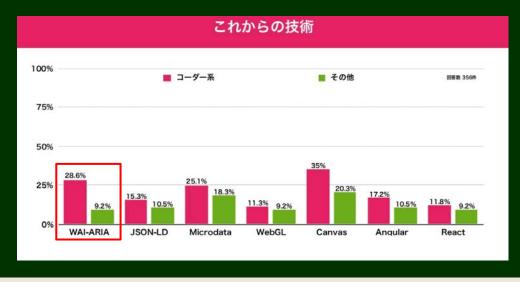












コーダー白書2016 http://www.slideshare.net/uzuflat/2016-66421027

Accessible Rich Internet Applications (WAI-ARIA) 1.1



W3C Candidate Recommendation 27 October 2016

This version:

https://www.w3.org/TR/2016/CR-wai-aria-1.1-20161027/

Latest published version:

https://www.w3.org/TR/wai-aria-1.1/

Latest editor's draft:

http://w3c.github.io/aria/aria/aria.html

Implementation report:

http://w3c.github.io/test-results/wai-aria/all.html

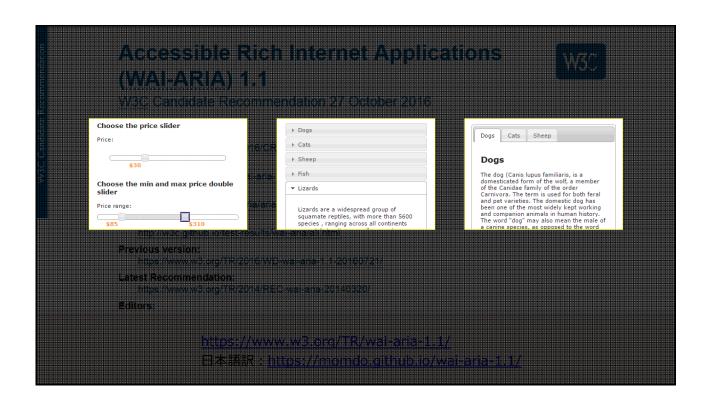
https://www.w3.org/TR/2016/WD-wai-aria-1.1-20160721/ Latest Recommendation:

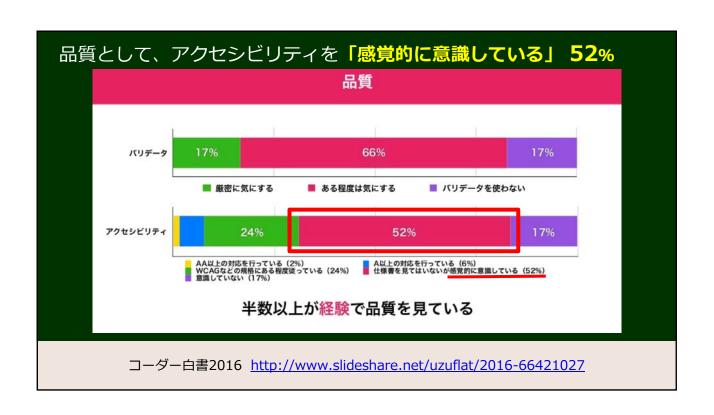
https://www.w3.org/TR/2014/REC-wai-aria-20140320/

Editors:

https://www.w3.org/TR/wai-aria-1.1/

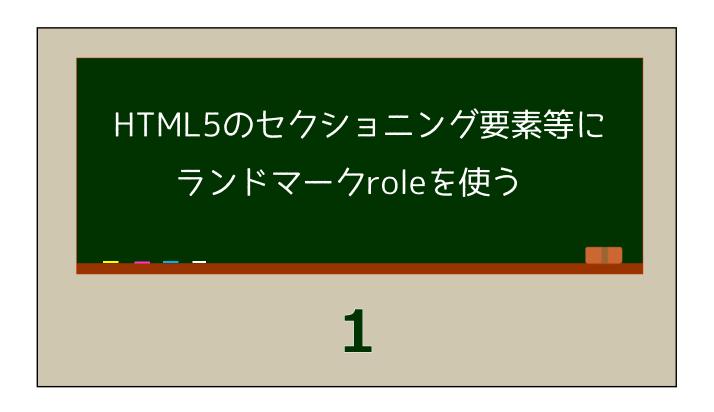
日本語訳: https://momdo.github.io/wai-aria-1.1/

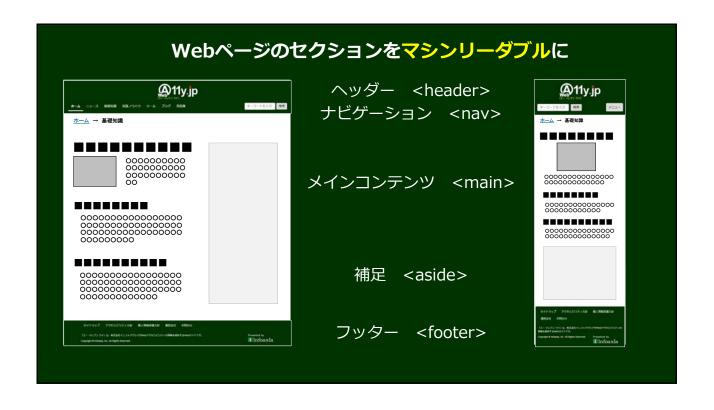






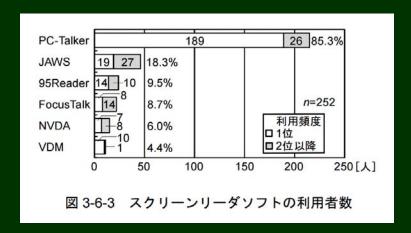








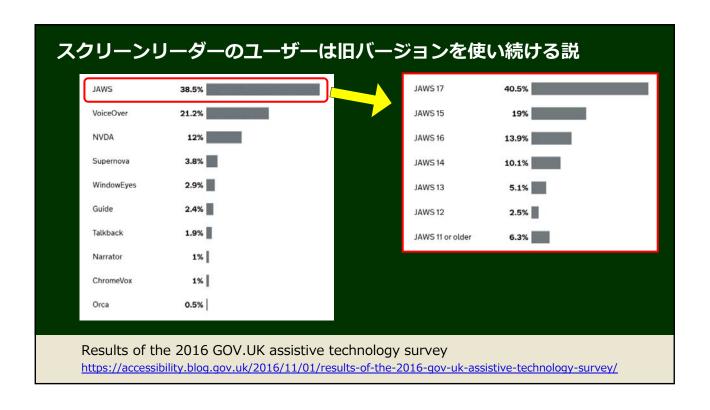
参考: スクリーンリーダーは「PC-Talker」のシェアが断トツ

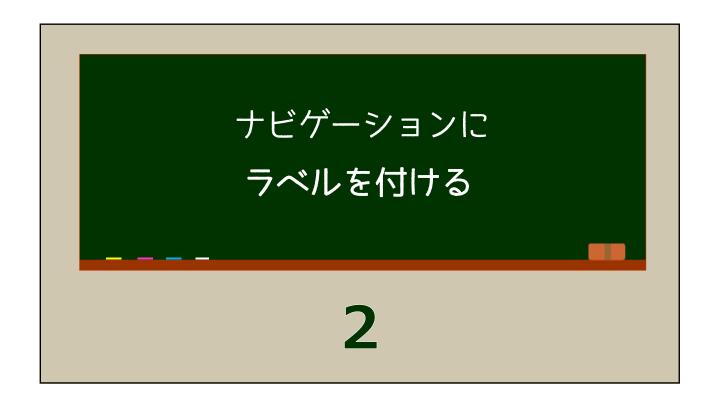


視覚障害者の携帯電話・スマートフォン・タブレット・パソコン利用状況調査 2013 http://dspace.lib.niigata-u.ac.jp/dspace/bitstream/10191/27807/1/TAF_Report_H26.pdf

HTML5のセクションを示す主な要素 & 対応するランドマーク role

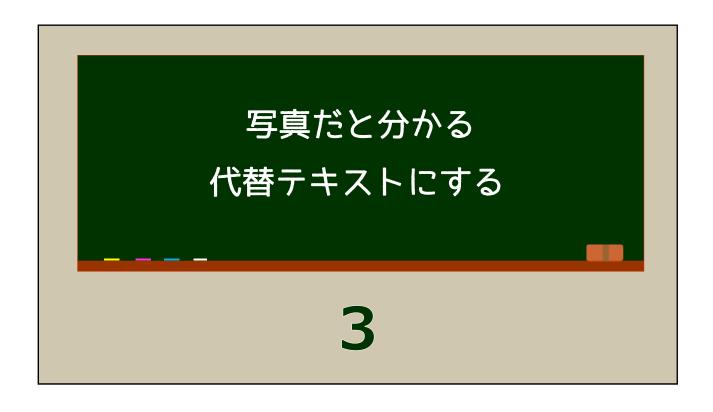
Webページにある セクション	HTML5の要素	ランドマークrole
ヘッダー	header	banner
ナビゲーション	nav	navigation
メインコンテンツ	main	main
補足情報	aside	complementary
フッター	footer	contentinfo











代替テキストによって、画像と同等の情報をマシンリーダブルに

₩ 画像にある文字情報をalt属性に記述する



<img src="banner.png" alt="CSS Nite Shift
2016-2017 2016.12.17">

代替テキストによって、画像と同等の情報をマシンリーダブルに

☆ そのページに写真があることも"情報"



<img src="photo.jpg"

alt="写真:小林製薬の糸ようじ 60本入り">

画像リンクとテキストリンク リンク先が同じなら1つにまとめる

4

リンク先が同じなら一つのリンクにまとめる



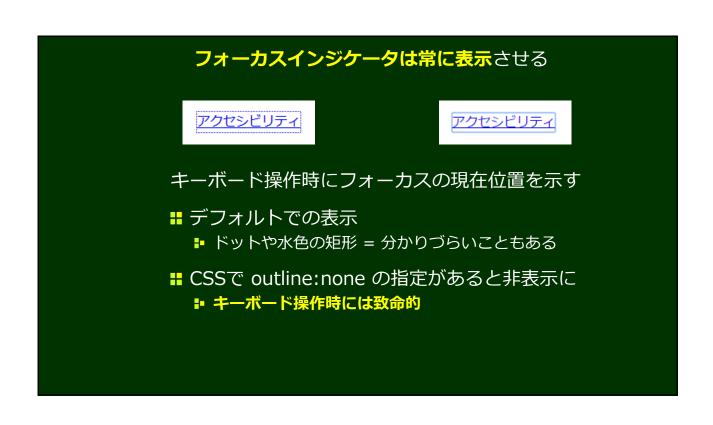
ま・オーボード操作回数が半分に減る

デザイニングWebアクセシビリティ - アクセシブルな設計やコンテンツ制作のアプローチ

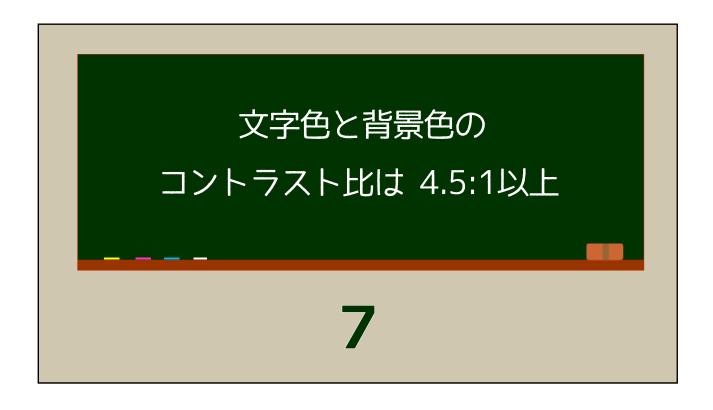
SVGファイルを使うなら
 に role="img" をつける



キーボードフォーカス見えてる?











This page demonstrates the use of the Bootstrap Accessibility Plugin on default Bootstrap components. In order to show you the difference in the user experience, the plugin is not applied to this page by default.

To try out the widgets on this page with or without the Bootstrap Accessibility Plugin, please load bootstrap accessibility plugin features.

Modal
Dropdown
Tab
Alart
Callapse
Carousel

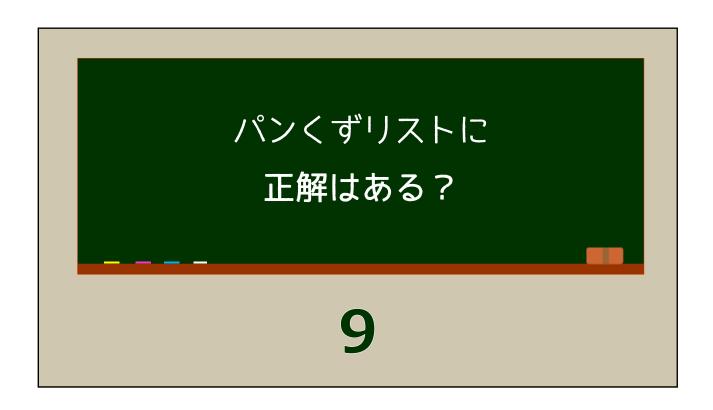
Examples
Live demo
Toggie a modal via JavaScript by clicking the button below. It will slide down and fade in from the top of the page.

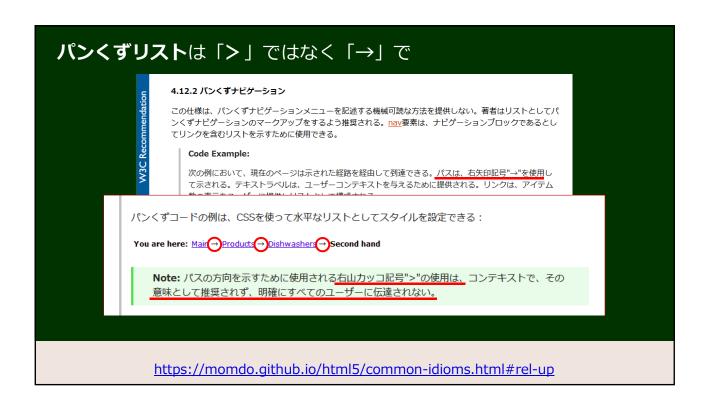
EXAMPLE

https://paypal.github.io/bootstrap-accessibility-plugin/demo.html



Bootstrap Accessibility Plugin を使ってみた		
∷ アコーディオン		
	 	
	か在	
	さ行	
	た行	
	在 行	
	は行	







その他、押さえておきたい キホンの「キ」 **10**

さらに これらも実践できれば だいぶアクセシブル

- **# ページの内容が分かるページタイトル**を記述する
- **見出しやリストなどの文書構造をマークアップ**する
- **# リンク先が分かるリンクテキスト**にする
- **#** ユーザーが**コンテンツを拡大表示**できるようにする
- **■** フォーム・コントロールの**ラベルをマークアップ**する

実例と体験談から学ぶ **アクセシビリティを高めるコツ**

- 1. ランドマークroleを使う
- 2. ナビゲーションにラベルをつける
- 3. 写真だと分かる代替テキスト
- 4. 画像リンクとテキストリンクを1つにまとめる
- 5. SVGファイルには role="img" を つける

- 6. キーボードフォーカス見えてる?
- 7. 色のコントラスト比は4.5:1以上
- 8. WAI-ARIAを手軽に賢く実装する
- 9. パンくずリストに正解はある?
- 10. その他のキホンの「キ」
 - ページタイトル、文書構造、リンクテ キスト、拡大表示、フォームのラベル

今取り組んでいるのは… フォーム





MACO Form 2つの開発コンセプト

- 1. あえてWAI-ARIAを使わない
- **WAI-ARIAのサポートが十分** ではない利用環境でも使える こと

できるかぎりユーザーの利用環境を限定しない

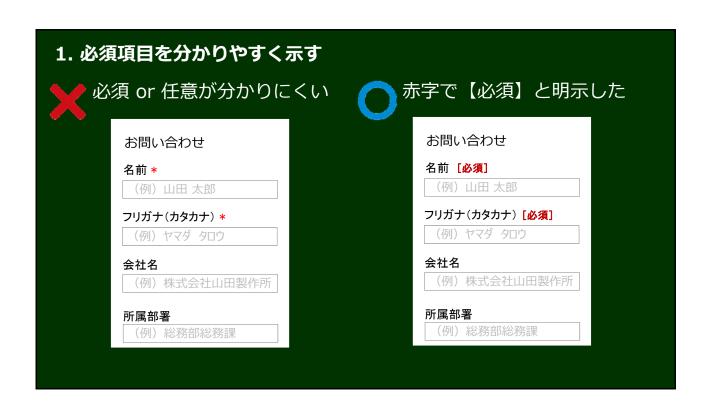
MACO Form **2つの開発コンセプト**

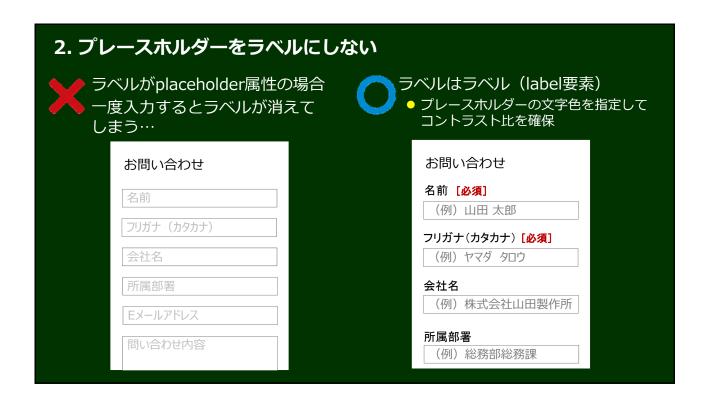
- 1. あえてWAI-ARIAを使わない
- WAI-ARIAのサポートが十分 ではない利用環境でも使える こと

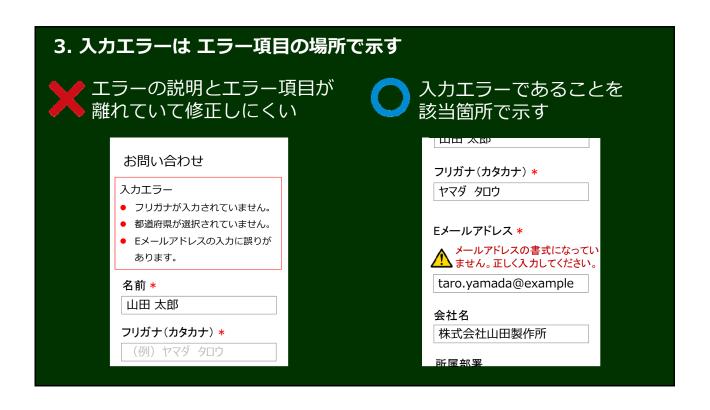
できるかぎりユーザーの 利用環境を限定しない

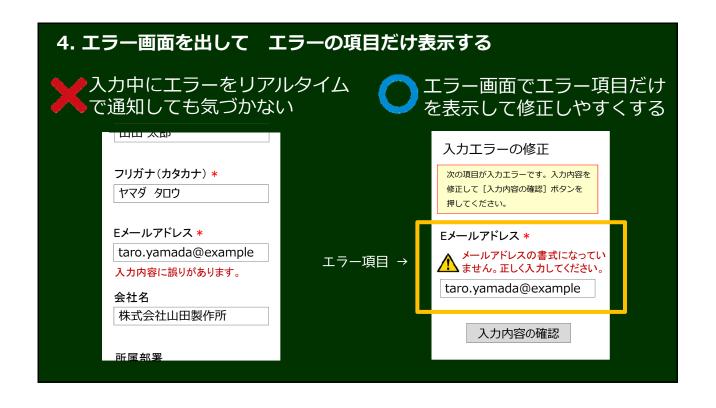
- 2. ユーザビリティテストでよく 見つかる問題点を解決
- ユーザーの利用環境は多種多様
 - ▶ 画面を見ている
 - よスクリーンリーダーを使用している
 - ▶ マウス&キーボードで操作している
 - 非 キーボードだけで操作している
 - ▶ タッチ操作している

しかし、問題点には 共通点が意外と多い!



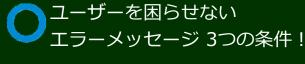






5. エラーメッセージは 具体的かつ簡潔な内容にする

エラーメッセージを読んでも 修正方法が分からない



- お届け先の入力
- 入力エラー
- 住所が正しくありません。
- 電話番号が正しくありません。
- 日付が正しくありません。
- 宛名 *

山田 太郎

フリガナ(カタカナ) *

(例) ヤマダ タロウ

郵価釆早 🦠

- 1. どこがエラー (Where)
- 2. なぜエラー (Why)
- 3. どのように修正(How)

文言の見直しだけで 離脱率が下がることも

MACO Form

More Accessible for Customers Online



MAKOTO



MAKOTO



RICO

年のアクセシビリティ

